

# 【認知症を正しく理解するための学習会】

第2回10月1日（火） 14：00～15：30

第3回11月7日（木） 10：00～11：30

場所 コミュニティセンター西小会館大会議室

講師 箕面市西部高齢者くらしサポート

定員 50名（先着順）

※この学習会は、両日とも令和6年5月27日に開催しました「認知症サポーター講習会」と同じ内容です。

## 病気として理解する

脳は、私たちの活動をコントロールしている司令塔です。脳がうまくはたらかないと、精神や身体の活動もスムーズに運ばなくなります。認知症とは、脳の細胞が死んだり、働きが悪くなったりして障害がおこり、生活に支障が出ている状態をいいます。認知症は、だれでもなる可能性がある病気です。



## 認知症の人の杖になる

「認知症の人は何もわからない」は間違いです。認知症かもしれないと悲しんでいるのは本人です。周囲の人が、認知症の人の障害を理解し、その人ができない部分を補う「杖」となれば、自分でもやれることも増え、おだやかに暮らしていくことができます。偏見という心のバリアをなくし、1人でも多くの「人間杖」を増やしていくことが重要です。

## 明日のわたしのためだから…… 認知症サポーターになってください

### 認知症サポーターとは

なにか特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。自分自身の問題と認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

### 認知症サポーターになるには

「サポーター養成講座」を受講した人が「認知症サポーター」となり、「認知症の人を支援します」という意思を示す目印の「オレンジリング」が渡されます。

※「サポーター養成講座」は市町村が在住（もしくは在勤、在学）している市民を対象に実施しており、自治体で養成された「キャラバン・メイト」が講師役をつとめます。



全国キャラバン・メイト連絡協議会

事務局 地域ケア政策ネットワーク

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-7-15

近代科学社ビル4F

TEL：03-3266-0551 FAX：03-3266-1670

村國 080-5328-8074

由良 080-1404-5483

※西小地区福祉会は、箕面市社会福祉協議会の基本的構成組織として、身近な暮らしの範囲「小学校区」を単位に組織された任意団体です。